

ま っ き き に あ な た へ

ま (広) さ (報) き

www.town.masaki.ehime.jp Public Relations

Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.



特 集

夢への一歩

pick up

まさきの
ecology生活

家族のきずな

宮内隆司さん 仁子さん
悠利くん 理玖くん 基伸くん

Boys & Girls,
Be Ambitious!

岩本拓也くん 忽那稜聖くん 竹田光希くん
石崎柊太朗くん 星加真吾くん

1

January 2012
No.422

新年がスタートします。
夢に向かって、一步踏み出す1年にしませんか。
一步踏み出す人が増えれば、やがてまちも飛躍します。

夢への一步

皆さんのチャレンジ宣言
2012年 あなたの
一步踏み出したい
ことは？



高松保乃香さん・笠間夏貴さん・大森真結さん
(伊予高3年)



野村洋子さん・恭平くん(神崎)



(左から) 東地真吾くん(松前小4年)・山本康平くん(松前小5年)
東地海都くん(松前小6年)・東地拓磨くん(松前小3年)



常盤美代子さん (筒井)



山崎紀弥さん(徳丸)・明智あかねさん(南黒田)



(左から) 續田沙也加ちゃん・山田遥菜ちゃん
成田朱里ちゃん・安藤佳乃ちゃん(松前小3年)



重川潤さん・美那さん(昌農内)



二宮ひとみちゃん(松前小4年)

家族のきずな

皆さんから友人知人の家族をリレーで つないで紹介するコーナーです。お誘いが来たらぜひ登場してくださいね。



宮内隆司さん 仁子さん 悠利くん 理玖くん 基伸くん (筒井)

◎ PROFILE
みやうち・りゅうじ 会社員。趣味はロードバイク。内子町出身。36歳
みやうち・ひとこ 主婦。趣味は廃油石けんづくり。筒井出身。38歳
みやうち・ゆうり 好きな教科は体育・図工・生活・算数。小2
みやうち・りき 好きな遊びはサッカーと高おに。6歳
みやうち・きしん 好きな遊びはおにごっこ。3歳

筒井に住む宮内さんファミリー。自然大好き、アウトドア大好き家族です。

隆司さんは今、自然の中を爽快に走るロードバイクに夢中です。仁子さんが夢中なのは、体にも自然にもやさしい廃油石けんづくり。3兄弟は、外遊びに夢中です。長男の悠利くんは「3人でドッチボールしてるときが1番楽しい。でも、けんかもいっぱいする」と笑います。仁子さんは「けんかするなら離れていればいいのに、いつもべったり一緒。なんだかんだいって大好きなんですね」とうれしそう。

ご家族は、毎年キャンプに出掛けています。「今年は『お母さんはいつもごはん作ってくれてるから今日は休んで』って男4人で作ってくれたんです。そのときのカレーの味が忘れられません」と仁子さんにはにっこり。隆司さんのことは「育メンです」と言い切ります。そんな仁子さんのことを「家の中をいつもパッと明るくしてくれます」と照れながら話す隆司さん。ご夫婦は子どもたちの成長について「とにかく健康一番で、自然と一緒に豊かに育ててほしい」と願っていました。

今回は、仁子さんのママ友、村山忍さん家族をご紹介します。

Contents

- 02 家族のきずな 宮内隆司さん・仁子さん・悠利くん・理玖くん・基伸くん
- 03 特集 夢への一步
- 12 Glory 秋の叙勲
- 13 Monthly Topics 岡田もち試食会 / 税に関する作品表彰 / 第九演奏会ほか
- 18 まちのわだい 珍味無料配布 / 町民短歌大会 / 防災ワークショップほか
- 20 まさきの ecology 生活
- 22 News 23年度税制改正 / 公民館研究大会 / 松前町臨時職員募集ほか
- 28 消防署だより
- 29 Information 県営住宅補欠入居者募集 / 冬の献血キャンペーンほか
- 30 公共施設からのお便り 図書館 / 包括支援 / 公民館
- 32 Smile & Smile 1歳です よろしくね / おうちで給食 / Boys & girls Be, Ambitious! 岩本拓也くん 忽那稜聖くん 竹田光希くん 石崎悠太朗くん 星加真吾くん / ふるさと歴史散歩
- 34 行ってこーわい 会ってこーわい 松前ソフトテニスクラブ



表紙
12月4日の松前町ふれあい健康マラソン大会に参加した柳沢美恵子さんと舞菜ちゃん(松前小1年)。手をつなぎ、さわやかな笑顔で、塩屋海岸沿岸道路を駆け抜けて行きました。

●表紙の“Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.”はキャッチフレーズの「水きらめき 笑顔あふれる ライフタウン・まさき」です。

松前町長選挙で再選を果たした白石勝也町長の4期目がスタートしました。

白石町長は、12月12日午前9時に初登庁。役場玄関で約100人の職員から出迎えを受けました。

庁舎内で行なわれた訓示では「これから自立・共生・飛躍に向けて、健全財政を堅持し、町政を推進していく覚悟です。皆さんの力を結集し、町民と一体となって歩んでいきたい」と決意を述べました。

白石町長は、平成11年11月、新人3人による選挙戦を制して初当選しました。

記者時代の経験から、行政の見えにくさ分かりにくさを解消したいと考えていた白石町長。と同時に、全ての町民に平等で公平な町政が執られ

ることが不可欠と考え、「見える、分かる、クリーンな行政を」という精神で3期12年を全力で走ってきました。

この間、各地域の文化祭や敬老会など、できる限り地域へ出向き、町民と対話してきた白石町長。町民の不安や地域の課題などを直に聞き、可能な限り町政に反映してきました。そんなフットワーク抜群の行動力は、大勢の町民から支持され、人望を集めました。

「町民の皆さんと行政が知恵と力を合わせる『町民総参加』で、一歩上を行くまじぶりの実現を目指したい」

松前町のさらなる飛躍に向け、白石町長は再び町政推進のかじを取ります。



職員に出迎えられながら初登庁する白石町長

一歩上を行くまじぶりを目指す

4期目のスタートに当たり、白石町長にまじぶりにへの決意と抱負を聞いた

―3期12年を振り返って―

1期4年、その4年間をどのようにやるかを常に重視してきた。それを3期積み重ねてきたと実感している。

1期目就任当初から変わらないうのは「見える、分かる、クリーンな行政を」という精神。できる限り地域へ出向き、同じ目線で話すことを心がけた。施策以前に、この姿勢を貫き、それを町民の皆さんに理解してもらえたことが、この12年の松前町発展の一端を担ったと考える。

―4期目挑戦への経緯は―

「権腐10年」。この言葉を自分への戒めとして心に持ってきた。首長という立場が長くなれば惰性、偏りやおごりが出る恐れがある。だからこそ、2期目からこの言葉を胸に刻んできた。

4期目については非常に悩んだが「町がいい流れに向かっていているから継続を」とい

う町民の方々の声を受け、応えたいと思った。年齢的には不安もあったが、気力・精神力は十分にある。これまで同様に町のため、町民のため、4期目に挑むことを決めた。

―4期目の重点施策は―

防災と環境。

特に防災については東日本大震災を教訓に、安全・安心なまちづくりのために避難場所になる小中学校の耐震化を進める。長年改修ができていなかった北黒田海岸の防波堤の整備も急務。第1分団消防詰所の整備、自主防災組織を中心とした避難訓練など、住民相互の助け合いのできる地域防災力の向上を図りたい。

環境政策については、ごみの減量化や省エネルギー化に一層力を入れ、バイオマスタウン構想の実現を推進したい。未来を担う子どもたちが関心を持つよう、体験を通して環境教育の充実も欠かせな

い。

この他、国体に向けたホッケー場の建設も具体的に進める段階にきた。車両貨物基地の移転に伴う沿線整備と併せて計画したい。国体後は町民の健康増進施設として役立つと期待している。

義農作兵衛の遺徳を伝えるために、老朽化した義農神社整備についても検討する必要がある。住民の声を聞きながら、後世へ伝えられる「記念館」「顕彰館」としての位置づけなども考えていきたい。

―笑顔あふれるライフタウンづくりの抱負は―

これまで以上に町全体の団結心の醸成を図りたい。町民大レクリエーション大会の開催や松前町版B級グルメ（地域の味自慢）大会など、全町民が自由に参加でき、楽しめるものを提案していきたい。子どもたちの海外派遣再開も目標の一つ。今の子どもた

ちに国際感覚は必要。単に復活させるのではなく、姉妹都市提携などを視野に入れた国際交流を進めたい。どのような都市が松前町に合うのか、子どもたちに投げかけるのもいいだろう。松前町オリジナルの国際交流を目指したい。

これから重要になってくるのは、町民みんなが見聞やアイデアを出し合って一緒にまちをよりよくする「町民総参加」のまちづくり。これが自立したまちとなる一番の力。一人一人の力、地域の力を結集していこう。

東日本大震災を受けて私たちが大事にしなければならぬのは、困っている地域があれば、松前町民みんなが支援しようという気持ち。そして、松前町だけがよくなるのではなく、互いに支え合い刺激し合うことが大切。共に一歩前へ、一つ上へ進んでいこう。

2011年 私が踏み出した一歩

町民もまちも、さまざまなことに一歩踏み出そうとしています。けれど、実際に行動に移したり、続けたりすると、くじけそうになることもあります。常に今の自分を超えていくには、どうすればいいのでしょうか。松前町にはこんな一歩を踏み出した人がいます。



フルートと人形片手に
単独で被災地支援へ

Person 01

Kawada Osamu
河田 修さん
神崎

69歳の春。河田修さん。神崎はフルートを見つめ、自問自答していました。「行くべきか…」

3月11日に発生した東日本大震災。テレビを見ていても自分の無力感ばかり。60代最後の奉仕と思つて、河田さんは決断します。

人形ケースにフルートを入れ、車に積み込みました。自炊道具(携帯用ガスコンロ、手鍋など)を購入し、水、日持ちの良い食糧、毛布、滑り止めを含めた寒さ対策を準備。「どこかの避難所に行くか、

人数、市町村名を新聞で確認。該当の社会福祉協議会に連絡し、衣食住は自己解決済みであること、フルートと腹話術を使った二人ボランティアで少しでも笑顔届けたいことを説明しました」

具体的な日時と場所は現地についてからということ。岩手を目指し、4月29日の真夜中に車を出発。米原、新潟、磐越道経由で東北道を北上しました。仮眠のためサードブレーキに入ろうとしても、警備員が満杯の信号。やっと駐車場を見つけたのは、出発して20時間後でした。

どの避難所にも笑顔はありませんでした。子どもたちは人形のケンちゃんに少し興味を示すも、笑ってくれませんでした。次はフルート。みんなに吹いてもらっていると、一人の中学生が思いきり息を吹き込み、「ゴー」という音。すると一人のお年寄りが「その音はトイレの水を流したときの音じゃ」と、やつとみんなが笑ってくれたと言います。

岩手と宮城の避難所数カ所を回って、河田さんは5月8日に帰宅しました。

「私のボランティアはこれで終わりと思つていました。でも、帰ったら原発で福島が大変なことになっていて」

河田さんは6月21日、福島へ向けて出発。さらにもう一歩踏み出しました。

松前町役場から東へ5分。鮮やかな緑色のレタス畑が広がっています。作っているのは浮穴佳温さん(30)と東古泉。実は浮穴さん、2年前に東京のアパレル系会社を脱サラ。農業をすることを決意し、愛媛県にUターンしてきました。

きっかけは電車の中吊り広告でした。「ふと見た中吊り広告に、『農業で稼ぐ』ってあって。当時、営業をやつて、自分が納得しない商品でも売らなきゃいけないことに違和感を感じていました。売るなら自分が納得したものを売りたい

かった。だから、「ありかな」ってピンときて」思い立ったら即行動する浮穴さん。さっそく、本やインターネットで農業について調べました。調べれば調べるほど、その気持ちは確信に。「自分でつくって自分で売れる農業は、究極の経営だと

Ukena Yoshiharu
浮穴佳温さん
東古泉

Person 02

「生まれ故郷ですからね。地元を盛り上げたいと思つて。松山市出身ですが、松前町には祖母が住み、以前祖父が兼業農家として農業に携わっていたときの畑が2反あったので」

そして21年8月、前の職場で知り合ったという美雪さんを連れ、Uターン。結婚、新居建築、就農と、目まぐるしい2年を過ごしました。

現在は5反でレタス、枝豆、ネギを栽培しています。「今、とても充実しています。手を掛けようと思えばいくらでも愛情を注ぐことができる農業。楽しくて仕方ありません。いずれは法人化したい」と夢を語る浮穴さん。

人生のモットーは、「やらずに後悔するよりも、やって後悔する」。

浮穴さんが踏み出した一歩は、確実に前へと向かっています。

東京からUターン アパレル業から農業へ



一步を支えたヒト・モノ・コト

一步を踏み出すために必要なことって何でしょう。先に紹介した二人の舞台裏の「ヒト・モノ・コト」を探ります。

単独で被災地支援に向かった河田修さん。「自分の衣食住を構えていくこと」など、ボランティアの基本を学んだのは、日赤で受けたボランティア講習会でした。

河田さんは「何気なく受けたボランティア講習。でもそこからのつながりで、救命救急講習や防災士養成講座など、いろんな講座を受講しました。こうした講習で防災に対する関心を高めていたことが、一步踏み出す勇気につながりました」と話します。

少しでも笑顔を届けたと思って使ったフルートと腹話術は、青木尚之先生に出会ったことが

きっかけで始めたもの。「定年退職後、ギターをやりうと思つて入ったのが先生のギター教室でした。『ひよこ会』は福祉施設への慰問を精力的に行っていて、そこで人を

楽しませる喜びを感じました。先生は明るく元気で、心から尊敬する人です。ボランティアの楽しさを教えてくれました。元気なうちは、貢献しなければという心を持つよ

河田さんにギターを教えた
Aoki Naoyuki
青木尚之さん



Person 01

うになったのは、先生のおかげです」ときっぱり。うまくなつたら卒業というシステムのひよこ会。河田さんも数カ月前に卒業しましたが、慰問には参加しています。ギターではなく、ひよこ会の生徒に教えてもらった腹話術と、ギターの次に始めたフルート、そしてユーモアあふれる司会で、大勢の仲間とともに笑顔を届けています。

2011年に一步踏み出した二人。二人の活躍の舞台裏には、それぞれに知られざるドラマがありました。

河田修さんは、日ごろから、あらゆるものに触れ、大勢の人に出会っています。その中で、恩師や切磋琢磨する仲間に出会い、一步踏み出す勇気を育てています。そして東北に踏み出した河田さんの一步は、一步踏み出すとする被災地の人々たちを、温かく支えました。

浮穴佳温さんは、明確



浮穴さんに農業を教えた
Shigekawa Satsuko Tetsu
重川颯子さん 鐵さん

人が見守っているんだと思います。新規就農してくれたことは、私たちの励みです」と満面の笑みを浮かべます。

鐵さんは、「私たちは既成観念が邪魔するけど、浮穴くんは挑戦する。そう言った違う感覚に刺激を受けました。これからの刺激を受けたいし、何かあればいつでも頼ってほしい」と話します。研修が終わってもつながりは消えません。



浮穴さんの妻
Ukena Miyuki
浮穴美雪さん

そして、佳温さんのそばにはいつも、陰ながら支える美雪さんの姿があります。

佳温さんは「知らない土地に来るのは不安だったと思いますが、付いてきてくれて。いつも支えてくれていて。いつも感謝しています。」と感謝します。

美雪さんは「研修中は心配でした。今までぬくぬくの職場だったのに、一転して肉休労働。おいしいお弁当を作って、あったかいお布団を敷いて、お風呂をためることぐらいしかできませんでした」と謙遜しますが、そんな美雪さんの心遣いが、佳温さんにとっては一番の支えでした。

佳温さんの一步は、たくさんのお優しい支えられていました。

新規就農をした浮穴佳温さん。農業経験が全くなかった佳温さんは、伊予農業指導班に紹介された重川鐵さん・颯子さん夫妻、昌農内君のもとで、1年間の農業研修を受けました。

「最初は分らないことばかりでした。基本から丁寧に教えてくださって、本当に勉強になりました」と振り返ります。

鐵さんは当時のことを「最初は正直心配でした。農業は楽しいというイメージだけで飛び込んだんじゃないかと思って」と話します。だから

こそ、自分の生き様を見せることで、農業の大変さを伝えてきた鐵さん。実際、佳温さんは、大変だと感じたとはいえず。それでも、重川さん夫婦が手間暇かけて作物を作る様子にふれ、自分で作るやりがいを少しずつ覚え始めると、農業の面白さを感じずにはいられませんでした。

颯子さんは「研修が終わった今でも、我が子のように心配です。浮穴くんのことをまわりが報告に来てくれることもあるんですよ。彼が感じて以上、大勢の



Person 02

な目標を持って、新しい一步を踏み出し続けています。悩んだときは、アドバイスをくれる先輩、温かく包んでくれる家族が、その一步を支えてくれています。

河田さん浮穴さん共に、今の二人があるのは、踏み出す一步があったからこそ。その勇気や自分が持つことはもちろん重要ですが、周りの環境、支えも大切です。

頑張れと言ってくれる人、親身になってくれる人がいたら、その人のためにもやらなければと、また、勇気が湧いてくるものです。

人は一人では生きていきません。誰かを支えたり、支えられたりしながら生きています。

指導してくれる先輩、刺激し合える仲間、受け入れてくれる家族…。大勢の人と人とのつながりは、くじけそうな一步を支えてくれます。あなたの踏み出す一步が、誰かの一步を支えます。

人と人とのつながりはくじけそうな一步を支えてくれます

その一歩が夢を育てる

一歩踏み出している憧れの先輩、魅力的な友達、ライバルや親を見たとき、あんなふうになりたい(憧れ)、負けてられない(悔しさ)、もっと頑張ろう(意欲)と、いろんな感情が湧いてきます。それは「私もやってみたい」につながります

青野遼さん(松前中1年)と翔くん(岡田小4年)兄弟は、松前町が誇るソフトテニスのトップアスリート。兄の遼さんは、松前中学校ソフトテニス部に所属。23年度愛媛県中学生学年別ソフトテニス大会1年生の部で準優勝。22年度は愛媛県ソフトテニス連盟ランキング小学生の部で2位に輝きました。弟の翔くんは、現在北伊予ソフトテニススクールに所属。四国小学生学年別ソフトテニス大会4年生の部で優勝。春季小学生ソフトテニス大会県予選4年生以下の部で優勝。全国大会へ出場することが決まっています。

指導しているのは、父剛さん。北伊予ソフトテニススクールのコーチ

を務めています。また、松前ソフトテニスクラブの副部長で、自身も大会に積極的に参加し、活躍しています。そんな親子はいつだって二人三脚で、一歩上を目指してきました。実は父剛さんも、祖父の實則さんに習い、テニスを学びました。剛さんがテニスを始めたのは中学生のとき。「遊びで父とするテニスが楽しかったし、父のテニスに憧れた」と話します。以来、剛さんはテニス一筋。大学卒業後、實則さんが所属する松前ソフトテニスクラブに入部しました。

また、母愛子さんも、剛さんの影響で同クラブでテニスを始めました。愛子さんは「家族みんなで汗を流せるのがうれしい」とこころい。

剛さんは、實則さんからテニスに勝つための手段だけでなく、礼儀や協調性を学んだと話します。そんな剛さんもまた、子どもたちに礼儀や協調性の大切さを伝えていきます。「技術が上手になると、どうしても傲慢になつてくる。それはさせたくない。遼は中学1年。小学生のときからやっているからテニス歴は長いけど、部活は新入部員。自分の立場を考えて行動してほしい」と願います。

「お父さんを超えたいと思ってテニスを始めた」という遼さん。「練習

でたくさんアドバイスをしてくれて、大会のたびに送り迎えをしてくれる。お父さんがいるから頑張れる」と感謝の気持ちを忘れません。

實則さんも、「テニススクールや遠征試合への対応に、感心する。我が子だけでなく、他の子どもたちを見る中で、視野が広がっている。安心して孫のことを任せられる。最近では、私への思いやりも感じられる。親と子というのは、ある程度ライバルであり、敵対するもの。でも今では、認め合える存在になりつつあります」と話します。

翔くんがテニスを始めたきっかけは「お兄ちゃん。翔くんにとってお兄ちゃんは「一番の憧れ」です。

そんな翔くんは「兄の遼さんは、「翔、頑張れ。僕ももっと頑張る」と頼もしい口調で笑顔を見せます。ともに小学1年生からテニスを始めた兄弟。剛さんは「試合経験を積ませる。これが強みとなる」と話します。試合の帰りには、必ず車の中で反省会。そんな中で、子どもたちと課題を見つけ、次の目標を掲げます。

遼さんは、強くなるために大切なことについて、「目標を二つ三つクリアしていくこと」と話します。1回決めて、クリアしたら次の目標を立てる。これは、遼さん自身が試合に

勝てるようになり、次の大会の目標が見えてくるようになって、身につけた術。今の目標は、「総体で県大会ベスト8に入ること」と言い切ります。翔くんの目標は、「毎回の練習を全力ですること。そして、国体に出ること」。

青野親子は、テニスを通じ、互いの成長を確かめ合いながら、一歩ずつ歩んでいます。その一歩が人を育て、夢を育てます。

夢は、ただ努力するだけではつかめません。目標を二つ三つクリアしていかなければならないのです。夢は進化していきます。だけど、夢が進化しているのではなく、成長した自分が夢を育てているのです。

夢は競争でつかみ取るものでもありません。スポーツ、受験など人と競うこともあるかもしれませんが、けれど相手との競争は、手前でしかありません。挑むのは自分です。

大切なのは、今の自分を超えていくこと。あなたの一歩を見た人が、憧れ、悔しさ、意欲など、いろんな感情を抱きます。それは「私もやってみたい」につながります。「応援したい」につながります。手を引いたり、「一緒に歩んだり、背中を押してくれたりします。だからあなたの一歩が二歩になり、他の誰かの二歩になります。」

Aono Minori
青野實則さん

Aono Kakeru
青野 翔くん

Aono Ryo
青野 遼さん

Aono Takeshi
青野 剛さん

毎日、今の自分を超えていく。

それが一歩踏み出すと「うっ」と。

一歩踏み出せば、出会いが増えます。

支え合いが生まれます。

そうやって、

まさに一歩踏み出す人が溢れていく。

やがてまちは飛躍します。



会員を越えて交流 ファミサポふれあい交流会

まさきファミリー・サポート・センターの「ふれあい交流会」は11月12日、松前町総合福祉センターで開かれ、利用会員やサポート会員と地域の皆さんが、お話を聞いたり遊んだりしながら楽しみました。

10時30分から行なわれたお話し会では、キルト作家の福井弘美さんが「家族の絆」について参加者らに語り掛けました。

弘美さんのキルト作品のモチーフは、長女の初美さんの描く絵。初美さんは、わずかに動く左手だけで水彩画を描きます。会場では、初美さんの原画と弘美さんのキルト作品展示も行なわれ、訪れた人は二人のやさしく、ほのぼのとした作品に心癒されていました。

午後からは、サポート会員による読み聞かせのほか、バルーンアートやクリスマスツリーづくりなど、この日のために準備された遊びの数々に、参加した子どもたちは大喜び。大勢の親子連れがそれぞれに楽しい1日を過ごしていました。



㊦ツリーつりゲームで楽しむ親子 ㊧お話し会と作品展示をしてくださったキルト作家の福井弘美さんと、初美さん、忠弘さん ㊨バルーンアートに夢中の子どもたち



㊩配布用の餅を用意する部会員の皆さん。慣れた手つきで次々に丸めます ㊪岡田もちファンは多く、大勢のお客さんが集まりました ㊫部会員の皆さん



つきたての餅でPR 岡田もち試食会

岡田・松前うまい米づくり部会の「岡田もち試食会」は11月29日、(株)松山生協岡田店で開かれ、部会員らがつきたての餅を配りました。

同地区で栽培されている餅米は、良品で粘りのある「岡田もち」として有名です。しかし、農業者の高齢化、食生活の多様化や昭和46年からの生産調整の開始により、米の栽培面積は大きく減少。そんな中、地域の特色を出せるような取り組みとして、餅米作りに力を入れようと、平成7年ごろ「もち部会」を結成。21年からは「岡田・松前うまい米づくり部会」と改称して活動を始め、毎年試食会を開催しています。

試食会では、「岡田もち」と同部会のエコ栽培米「松前育ち」の販売も行われ、会場は新米を味わおうと訪れた人たちで賑わいました。

部会員の横山由井子さんは「みんなでお餅をつきながら『今年もいいお米ができたね』と喜び合えてうれしい。毎年この試食会が景気づけになっています」とっこり。重川颯子さんは「こうして試食してもらったり、顔を見てもらったりすることが、農家への信頼感につながるといいます」と話していました。

政府は11月3日付で、平成23年秋の叙勲を発表しました。本町から地方自治功労で元県松山地方局長の藤岡香一さん、児童福祉功労で松山中央乳児保育園園長の坂本君枝さんの2人が受章。また、10月8日付で発表した、危険な仕事に取り組み社会に貢献した人の功績を称える危険業務従事者叙勲では、消防功労で西村広武さんが受章しました。

* 瑞宝小綬章【地方自治功労】

藤岡香市さん ふじおか・こういち 元愛媛県松山地方局長 72歳 北黒田

昭和38年に愛媛県職員採用。以来、約40年間、地方自治業務ひと筋に尽くし、平成11年からは松山地方局長を務めました。

「受章を聞いたときは、家内と間違っているのではと思いました(奥様は有名な書道の先生)。たいしたことはしていません。県職員として同僚・先輩の指導を受けながら、勤務を全うしただけ」と、受章してもなお、腰が低い藤岡さん。

印象に残っている仕事については、「新しく事業を行う仕事。電子計算機導入研究室、国民文化祭準備室、歴史文化博物館準備室など、組織・人・予算など一から作ることにやりがいを感じました」と話します。「自分がやってきたことに対して、大変大きな賞をいただきました。両親もとても喜んでくれていると思います」と穏やかな表情でほほ笑んでいました。



* 瑞宝双光章【児童福祉功労】

坂本君枝さん さかもと・きみえ 松山中央乳児保育園園長 76歳 西高柳

昭和42年の開園から40年余り、松山中央乳児保育園長を務める坂本さん。1歳以上の保育が主流だった時代。当時6週だった産休明け保育のニーズの高まりを受け、0歳児保育の県下の先駆けとして奮闘してきました。

「近くに経験者がいない中で、抵抗力のない0歳児を預かることは不安でした。スキンシップが1番必要な時期なのに子どもがかわいそうと反対する人もいました。そ

れでも、変わりゆく社会には必要な保育。バックに病院があればと考え、現在の形をとりました。初代職員10人、手探りのスタートでした」と振り返ります。

県内の0歳児保育の開拓者として、子どもたち、親たちのために走り続けてきた坂本さん。「一人ではできなかった。全職員での受章です」と感謝し、「人間関係が希薄な今こそ、命の大切さを伝えたい」と願います。



* 瑞宝双光章【消防功労】

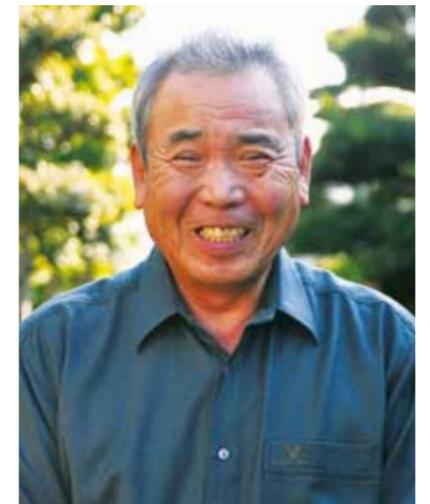
西村廣武さん にしむら・ひろたけ 元伊予消防等事務組合消防司令長 68歳 出作

西村さんは昭和48年、松前消防署に入署。以来38年間、地域の消防活動に尽力してきました。

平成9年には、伊予消防等事務組合消防司令長に就任。火災や水害などから地域住民の生命と財産を守るため、迅速で的確な指揮を執ってきました。情熱と使命感は人一倍強く、地域を守るその精神は、引退後も後輩たちに脈々と受け継がれています。

「長い消防活動の中で、最も記憶に残っていることは、平成3年の台風被害。特に北黒田海岸付近の被害がひどく、台風が去ったあとの復旧作業も大変だった」と振り返ります。

災害時、まっ先に現場に向かわなければならぬ消防士という仕事。「理解し、支えてくれた家族のおかげです」と感謝していました。





潮風を受けて全力疾走

松前町ふれあい健康マラソン大会

松前町ふれあい健康マラソン大会は12月4日、快晴のマラソン日和のもと開催され、子どもから大人まで348人が塩屋海岸沿岸道路を走り抜きました。結果は右のとおりです（敬称略）。



ふれあいコース 2 km

- ▶小学生男子の部
 - 1位 石崎 柊太郎 7分20秒65
 - 2位 鐘井 隆仁 7分31秒34
 - 3位 石崎 棕介 8分01秒21

- ▶小学生女子の部
 - 1位 越智 愛美 8分16秒76
 - 2位 渡邊 鈴風 8分21秒59
 - 3位 越智 優花 8分40秒49

- ▶中学生女子の部
 - 1位 河野 由佳 7分45秒77
 - 2位 高岡 ちとせ 7分59秒26
 - 3位 栗田 明香里 7分59秒83

- ▶ファミリーの部
 - 1位 橘 宜宏・希歩 8分41秒13
 - 2位 金子 努・夕菜 9分20秒75
 - 3位 新納 学・蒼大 9分32秒39

ふれあいコース 3 km

- ▶中学生男子の部
 - 1位 小笠原 峰士 10分28秒71
 - 2位 松邨 和馬 10分29秒67
 - 3位 森 智仁 10分35秒39

挑戦コース 5 km

- 1位 竹森 静芳 18分11秒52
- 2位 上田 聡 19分23秒99
- 3位 井上 豪 20分03秒12



林祐哉さん（松前中2年）が優勝

愛媛県中学校新人体育大会

愛媛県中学校新人体育大会は11月5、6の両日開催され、松前中学校2年生の林祐哉さんが柔道男子個人戦90キロ超級で優勝しました。今年8月に行なわれた四国総体を制し、全中にも出場した林さん。全国の舞台で一本負けした悔しさをバネに練習に打ち込んできました。林さんは「3年生最後の総体での優勝を目指して、日々練習に打ち込んでいこうと思います」と話していました。



池内ミツエさんに厚生労働大臣表彰

平成23年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰

町保健栄養推進協議会員の池内ミツエさん＝北黒田＝は10月14日、食生活改善事業功労者として厚生労働大臣表彰を受賞しました。池内さんは昭和53年に会員になって以来、健康づくり全般を推進するボランティア活動に取り組み、地域の食生活事業発展に尽力しています。池内さんは「一緒に活動して下さる皆さんのおかげです」と話していました。



西高柳が文化祭の売り上げを寄附

松前町大規模地震災害対策基金

災害時に役立ててほしいと、西高柳地区（宇野洋一区长）から、文化祭の売り上げの一部が松前町大規模地震災害対策基金に寄附されました。

同地区は、平成20年度から寄附を続けています。「自分たちのまちのために貢献できればうれしい」と話す宇野区長に対して白石勝也町長は「大変感謝します。こうした温かい心が広がってくれることを願っています」と話していました。



技を競って

第34回松前町体育協会空手道大会

町体育協会の空手道大会は11月23日、松前中学校で開催されました。結果は次の通りです（敬称略）。

型競技▶小学2年以下①佐々木優衣②日野麗智③有光夏那③高岡祐翔▶小学3.4年①佐々木千夏②相原知歩③藤田大地③浅田樹希▶小学5.6年①城戸春香②佐々木雅弥③藤田陸③忽那稜聖

組手▶小学3.4年男子①藤田大地②浅田樹希③水口響哉▶小学5.6年男子①忽那稜聖②藤田陸③宇都宮悠▶小学3.4年女子①佐々木千夏②相原知歩③井上七海▶小学5.6年女子①城戸春香②相原歩果③田島海彩



寒風吹き飛ばす熱戦を展開

第32回松前町剣道錬成大会

剣道錬成大会は11月20日、松前中学校で開催され、白熱した試合を繰り広げました。結果は次の通りです（敬称略）。

▶小学生4年生以下の部①篠崎健心②星加彩佳③菊池戒▶小学生5.6年生の部①谷本恵里名②鐘井隆仁③山下椋平▶中学女子の部①渡部亜美②太田菜々▶中学男子の部①出海優作②増田聖人③谷本尚紀▶高校女子の部①八束紫乃②木村葵③松本侑季乃▶高校男子の部①石崎智大②亀岡海斗③阪東拓也



息の合ったチームプレーを披露

第30回分館対抗レクバレー大会

第30回分館対抗レクリエーションバレーボール大会は11月20日、松前公園体育館で行われ、11チームが熱戦を繰り広げました。選手たちは、日ごろの練習の成果を存分に発揮して、息の合ったチームプレーで会場を沸かせていました。結果は次の通りです。優勝 筒井レディース 準優勝 神崎A 3位 永田



税に関する作品表彰

松前町租税教育推進協議会定期総会

松前町租税教育推進協議会の定期総会は12月5日、役場で開催され、小・中学校、高校からたくさんの応募があった作品の中から、優秀な作品の表彰と作文の朗読が行われました。

受賞者は次のとおりです（敬称略）。

松前町租税教育推進協議会主催

「税に関する作品」

▶町長賞

<ポスター>

松前小6年 今井 里奈

北伊予小5年 加藤 瑞菜

岡田小5年 岡田 紗季

岡田小6年 郷田 実佑

北伊予中2年 中田 智也

<習字>

松前小6年 横山 勇太

北伊予小6年 古谷 愛

岡田小6年 芳之内 野江

<標語>

松前小6年 好井 慧莉

「税金は未来のとびらを開くかぎ」

北伊予小5年 池内 萌菜

「納税はみんなの未来を守るもの」

国税庁主催

「租税教育推進校等表彰」

▶国税庁長官表彰

松前中学校

「税に関する高校生の作文」

▶高松国税局長感謝状

伊予高等学校

全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁

共催「中学生の税についての作文」

▶松山税務署長賞

北伊予中3年 八束 光司

▶松山地区租税教育推進協議会長賞

岡田中3年 宮本 真子

▶愛媛県納税貯蓄組合連合会長賞

岡田中1年 村上 未奈

▶松前町長賞

北伊予中3年 神野 一平

▶松山税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

松前中3年 荻山 美里

岡田中3年 酒井 祐貴菜

▶全国納税貯蓄組合連合会長感謝状

岡田中学校



北伊予小5年
加藤 瑞菜さん



岡田小5年
岡田 紗季さん



北伊予中2年
中田 智也さん



師走を告げる歌声

松前町第九演奏会

「2011松前町第九演奏会」は12月18日、松前総合文化センターで開かれ、子どもから80代まで総勢200人の松前町第九合唱団が高らかな歌声を響かせました。

松前町第九演奏会実行委員会が平成21年から毎年開いており、今回で3回目の演奏会。今回も、藤岡葉子さん、國廣由佳さん、八木徹雄さん、折河宏治さんら4人をソリストに迎え、第九合唱団と共演しました。

会場は約700人の聴衆で満席状態。あいさつに立った白石勝也町長は、「東日本大震災では、被災地の皆さんを最も元気づけ生きる力を与えたのが音楽です。プロの歌手や子どもたちのかわいい合唱が、被災された方々の心を癒したと言います。これが音楽の持つ力です。今年の松前町第九の歌声が、東北の被災地の皆さんへの再生へのエールになることを祈ってやみません」と述べました。

ステージでは、伊予高校吹奏楽部の演奏に合わせて、200人の合唱団が、交響曲第九番の第4楽章「歓喜の歌」を迫力満点の大合唱。息の合った歌声に、会場からは、割れんばかりの拍手と歓声が起こりました。

主婦の相原善美さん＝神崎＝は、「第九に憧れ、初回から欠かさず聴きに來ています。今年が1番よかったです。大変感激しました」と興奮気味に話していました。



④伊予高校吹奏楽部の演奏で壮大な歌声を披露する松前町第九合唱団の皆さん ⑤左からソリスト藤岡葉子さん、國廣由佳さん、八木徹雄さん、折河宏治さん ⑥満員の客席から惜しみない拍手が送られた ⑦⑧精一杯歌声を届ける合唱団員



重松 正郎さん

定期的に歯科健診を受けること、歯で無理をしないこと、お魚は骨まで全部食べることを心掛けています。



中矢ツタエさん

小さいころから、いりこ、昆布や海藻など、カルシウムが多い食材を好んで食べてきました。



丸山 登さん

何でも食べることです。くよくよせず、朗らかに生きていくよう、心掛けています。



関谷久美恵さん

好き嫌いなくよく食べ、よくおしゃべりし、口や舌を動かすことが健康な歯を保つ秘訣です。

8020 達成で4人が入賞

平成23年度元氣歯つらつコンクール

80歳以上で自分の歯が20本以上ある人を対象に行われた「元氣歯つらつコンクール（愛媛県主催）」で、町内から重松正郎さん（82）＝出作＝、中矢ツタエさん（82）＝西古泉＝、丸山登さん（82）＝新立＝、関谷久美恵さん（80）＝昌農内＝が入賞しました。4人は、長年にわたる口腔ケアが評価され、受賞しました。

▼ 12月11日
クリスマス会



松前町障害自立ひまわりの会作業室で、手をつなぐ育成会主催のクリスマス会が開催されました。

ひまわりの会のメンバーに加え、支援学級の後輩、先生、ボランティアなど、日ごろから交友のある40人が参加。一緒になって演奏やダンス、ビンゴゲーム、なぞなぞなどを楽しみ、少し早いクリスマス気分を味わいました。

▼ 12月1日
素直な想いを短歌に



町民短歌大会は、松前総合文化センターで開かれ、大勢の愛好家が参加しました。これはまさき文化祭の一つとして毎年行われているものです。大会では、愛媛アラragi会会長の河村昭夫氏が、応募のあった作品を一つ一つ詠み、講評していただきました。

参加者らは、作品の講評などを通して歌の心を学び、感性に磨きをかけていました。

▼ 11月24日
お仕事してくれてありがとう



勤労感謝の日になみ、古城幼稚園の園児たちが役場を訪れ、日ごろの感謝の気持ちを込めたプレゼントを副町長と教育長に贈りました。

園児たちは「いつもお仕事してくれてありがとうございます」と手作りのメダルやペン立てをプレゼント。メダルには「風邪をひかないでお仕事頑張ってください」など、温かいメッセージが添えられていました。

▼ 11月17日
人権の花



松前町人権擁護委員と松前町教育委員会は、「人権の花運動」として、ビオラとアリッサムの苗、チューリップの球根を青葉幼稚園に贈呈しました。園児たちは、花を植えるコツを教してもらいながら、1本1本プランターに植えていきました。綺麗な花を咲かせることで、園児たちに生命の大切さや、目標を達成することの大切さを感じてもらいたいという願いが込められています。

▼ 12月17日
液状化を学ぶ



松前町自主防災連合会主催の「防災ワークショップ」は役場庁舎で開かれ、町民など70人が地震が引き起こす液状化現象について学びました。

地下水が豊富で砂地盤が多いことから、大地震による液状化現象の発生が心配される松前町。講演では、愛媛大防災センターの岡村未対教授がこのことにふれ、「地盤調査やリスクに応じた地盤強化対策や地震保険の利用を考慮してほしい」と訴えました。

▼ 12月4日
第九プレコンサート



12月18日の松前町第九演奏会に先立ち、松前町第九合唱団は、エミフルMASAKIの1階グリーンコートで、プレコンサートを開きました。

本番は伊予高等学校吹奏楽部の演奏でソリスト4人を迎えますが、今回はピアノ伴奏でソリストなしで、4楽章の合唱の部分を披露。ホールに高らかに響き渡る迫力ある歌声に、買い物客らは思わず止まって聞き入っていました。

▼ 11月25日
花壇がきれいになりました



伊予農業高等学校の1年生14人がボランティアで、役場の正面玄関の花壇に花を植えました。今回の花は、黄色、紫、赤、オレンジなど色とりどりのビオラ約300株。

生徒たちは、きれいに並ぶように丁寧に花を植え、花壇を鮮やかに彩りました。冬空のもと、かわいらしく整列した花々が、役場に來た人をお出迎えます。

▼ 11月23日
まさき村で珍味無料配布



四国珍味商工協同組合は11月23日(いづまみ)の「珍味の日」に合わせて、まさき村で珍味を無料配布しました。毎年恒例となっているこの行事。当日は、あいにくの天気にもかかわらず、開始30分前から行列がでけはじめ、用意された約450袋の珍味は大盛況のうちになりました。珍味を受け取った人たちは、「カルシウムがいっぱい入っていて体にいいし、おいしい」と喜んでいました。

緑のカーテンコンテスト審査結果

町は、夏の省エネルギー対策として、緑のカーテンを育て、エアコンの使用を抑えることを推進しています。

その一つとして、緑のカーテンコンテストを行いました。

10月30日、まさき文化祭で入選作品が決定しましたので紹介します。

来年は、皆さんも緑のカーテンを育ててみませんか。 ☎町民課生活環境係 ☎985-4117

* 1位

松本行弘さん



■工夫した点

窓一面に設置したかったので、昨年より植え付け面積を増やしました。

■設置の効果

効果抜群で、日差しも遮り、涼風を感じることができ、エアコンは1度も使いませんでした。ゴーヤもたくさんでき、近所の人に配りました。

* 2位

稲見美千代さん



■工夫した点など
植えてから1週間おきに肥料を10回施肥し、水は朝夕たっぷりを与えました。ゴーヤはビタミン豊富なので夏バテ防止に役立ちました。

* 2位

森 泰雄さん



■工夫した点など
窓と植物の間に空間を作り風通しを良くしました。ゴーヤがたくさんできて近所の人たちが喜んでくれたので、来年は収穫祭をしたいです。

* 3位

竹西民子さん



* 3位

金林正憲さん



* 3位

古川理枝子さん



* 3位

丸尾 弘さん



* 3位

岡田 節さん



* 3位

井上和之さん



* 3位

大西 章さん



* 3位

藤岡智文さん



* 3位

松田友子さん



* 3位

田中和子さん



ごみ集積場所からの資源ごみの持ち去りを禁止します

近年、ごみ集積所に出された古紙や缶などの資源ごみが、町が収集する前に持ち去られていることから、「松前町廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を一部改正し、資源ごみの持ち去りを禁止します（平成24年4月1日から実施）。

【条例改正の内容】

- 1 町から収集・運搬の委託を受けた者以外の者が、資源ごみステーションに出された資源ごみを持ち去る行為を禁止する。
- 2 町は、持ち去り行為を行った者に対して、持ち去りを止めるよう命令することができ、
- 3 禁止命令を出しても従わない場合は、警察に告発する。
- 4 罰則規定に基づき、20万円以下の罰金を科すことができる。

（資源ごみ：古紙、かんびん、ペットボトル、プラスチック、金属、古着古布、せんでい枝、有害ごみ、家電製品）

●条例の適用除外

- ・民間業者がマンションなどの集合住宅や個人宅との個別契約により収集する場合
- ・町が収集した後に分別の不備などで残されたごみを、ごみ当番などの管理者が一旦持ち帰る場合

【目撃情報をお寄せください】

今後、ごみ集積場所への看板設置や町職員によるパトロールをする予定です。町民の皆さんが持ち去り行為者に直接注意したり、車両を制止させたりする行為は危険です。町民の皆さんは持ち去りの目撃情報提供にご協力ください。

●町が委託した回収車と持ち去り行為をしている車の見分け方
町が委託した回収車は：▽必ず2人以上で作業しています。▽黄色地に黒色で「松前町委託ごみ回収車」と書かれたステッカーを貼っています。

※集団回収をしている人も、ごみ集積場所から資源ごみを持っていくことはできません。ごみ集積場所とは別の場所を集めるなどの工夫をお願いします。

☎町民課ごみ対策係

☎985-4117

持ち去り行為を発見したら通報を

資源ごみの持ち去り行為を発見した場合は、次の情報を速やかに通報してください。

- ①持ち去り行為があった場所
(集積場所の番号、所在地、目印など分かる範囲で)
- ②日時
- ③品目
- ④車両ナンバー、車種などの特徴

町民課ごみ対策係へ

☎985-4117

生ごみ処理容器の購入費を補助します

生ごみ処理容器を設置する人に対し、補助金を交付します。

購入証明書が必要ですので、購入前にお問い合わせいただくか、窓口にお越しください。

生ごみ処理バケツ・容器(コンポスト)

《バケツタイプ》ボカシ(発酵促進剤)の働きで分解し、堆肥化します。

《コンポスト》屋外用で5～10センチくらい地中に埋めて使います。地中の微生物の働きで分解し、堆肥化します。

補助費 購入費の1/2(限度額3,600円)

■補助金交付に必要なもの

印鑑(シャチハタ不可)、納税証明書、65歳以上の場合は介護保険料納付証明書

☎町民課ごみ対策係 ☎985-4117

電気式生ごみ処理機

生ごみを電気の熱と微生物(バクテリア)によって分解して堆肥化または減量化します。

補助費 購入費の1/2(限度額20,000円)



公的年金を受給している人へ 23年度税制改正

公的年金の収入金額が400万円以下(※)で、公的年金以外の所得金額が20万円以下の人は、所得税の確定申告をする必要がなくなりました。

※複数の公的年金を受給している人はその合計金額です。

この場合でも、所得税の還付を受けるための確定申告書は提出できません。

今回の税制改正で所得税の確定申告が必要なくなった人でも、**住民税の申告は必要です。**

●松山税務署
(松山市若草町4番地3松山若草合同庁舎)

☎941-9121

税務課町民税係

☎985-4110

還付を受ける確定申告は1月からできます

23年分の所得税の払戻しを受けるとる還付申告は、24年1月4日から松山税務署で受け付けています。還付申告を早めに済ませると早く税金の還付が受けられます。

確定申告の期間中(2月16日(3月15日) 役場での申告は混雑します。還付申告の人は、書類が整い次第、松山税務署で早めに申告することをおすすめします。

▼申告に必要なもの
▽税務署から送付された申告書用紙を持っている人はその「申告書」
▽所得の計算に必要な書類(年金

や給与の源泉徴収票など)

▽医療費の領収書(領収書の集計はご自身で)

▽社会保険料(国民年金・健康保険料など) 控除証明書または領収書

▽生命保険料・地震保険料などの控除証明書

▽印鑑(認印で可)

▽還付金の受取口座のわかるもの(本人名義の預金通帳など)

●松山税務署

☎941-9121

街角に年金相談センターが開設

街角の年金相談センター松山が開設されました。

▼年金相談にお越しの際は

年金手帳(基礎年金番号通知書)、年金証書、振込通知書、相談者本人であることが確認できるものを持参ください。代理人が相談に来る際は、委任状と依頼を受けた本人であることが確認できる書類(運転免許証など)が必要です。

▼所在地 松山市花園町1-3

日本生命松山市駅前ビル5階(伊予鉄松山市駅から徒歩1分。駐車場なし)

▼相談受付時間 8時30分~17時15分(土・日曜日、祝日、12月29日~1月3日を除く)

※全国社会保険労務士会連合会が運営



●松山西年金事務所

☎925-5105

町民課住民係

☎985-4106

子ども手当の申請はお済みですか？

平成23年10月以降の子ども手当を受給する場合、新たに申請が必要です。9月末日時点で子ども手当を受給していた人(公務員を除く)には、10月7日に関係書類を送付しています。書類が届いていない人はご連絡

ください。

また、未成年後見人や父母などが国外にいても、国内で対象児童を養育している人は、対象となりますので申請してください。

●福祉課児童福祉係

☎985-4114

税の申告のための 障がい者認定書を交付します

65歳以上の介護認定者などうち、身体障がい者に準ずる者と認められる場合や、6カ月以上寝たきりの人は、障害者手帳を持っていない人も、税の申告時に「障害者控除」の対象になります。控除を受けるには「障害者控除対象者認定書」が必要です。

い。寝たきりの場合は、医師の診断書またはおむつ使用証明書が必要で。

●(認定の見込みや申請の詳細は)福祉課障がい福祉係

☎985-4112

(税の障害者控除については)

税務課町民税係

☎985-4110

福祉課窓口で申請してください

始めてみませんか？ ネットで申告・納税

e-Tax(国税電子申告・納税システム)を使えば、自宅やオフィスなどから、インターネットを利用して所得税、法人税、消費税などの申告や法定調書の提出、納税証明書の交付請求のほか、各種申請・届出の提出などの手続きができます。

また、納税もインターネットバンキングやATMを利用できます。特に利用回数の多い手続き(源泉所得税の毎月の納付手続きなど)に便利です。

e-Taxを利用するには事前に手続きが必要です。詳しくはe-Taxホームページ(<http://www.e-tax.nta.go.jp>)をご覧ください。

●松山税務署 941-9121

10月6日「松前町暴力団排除条例」施行 暴力団を排除しましょう

町民・事業者・行政・警察が一体となって社会から暴力団を排除し、安全で平穏な生活を確保するため、「松前町暴力団排除条例」を制定しました。※暴力団排除条例は、県が22年8月から施行。県内全町で、昨年までに制定されました。

◆制定の背景

県内には、23年1月1日現在で約50団体、合計約900人の暴力団がいます。近年、暴力団の資金獲得活動は多様化しており、組織実体を隠ぺいした活動が活発化しています。こうした現況では、警察の取り締まりに加え、住民・事業所・行政などが連携して、暴力団を排除していくことが重要です。



◆条例の主な内容

①暴力団排除の基本理念

- ・暴力団を恐れない
- ・暴力団に資金を提供しない
- ・暴力団を利用しない

②町の事業から排除

町の入札に参加させないほか、物品等の購入や売却など、全ての事務・事業から暴力団を排除します。

③町民の暴力団排除活動を支援

町は、皆さんが安心して暴力団排除活動に取り組むことができるよう、情報提供や広報啓発活動を行います。暴力団から危害を加えられる恐れがある場合は、警察による保護措置を含め

町民の安全を確保します。

④公共施設から排除

暴力団の公共施設の使用を許可せず、既に許可を受けている場合は取り消します。

⑤利益供与の禁止

用心棒代やトラブル解決の見返りとして暴力団にお金を渡すこと、暴力団から門松や書籍などを購入すること、暴力団員を雇用することなどを禁止します。

⑥祭礼などから排除

お祭り、イベントなどの行事から暴力団を排除するため、主催者などが暴力団を利用したり、暴力団員を運営に参加させたりすることを禁止します。

●総務課危機管理係 (条例に関すること) ☎985-4103
伊予警察署 (取り締まりに関すること) ☎982-0110

松前町国民健康保険・後期高齢者医療制度加入の皆さんへ

健康診査は受けましたか？

生活習慣病の発症予防や早期発見を目的として開始された特定健康診査と後期高齢者健康診査。本年度はもう受けましたか？まだの人はぜひ受けましょう。

1月17日（火）集団健診を実施します
対象者（平成23年4月以降に受けていない人）

- ・国保に加入している40歳以上の人
- ・後期高齢者医療制度に加入している人
- ・39歳以下の人（医療保険に関係なく受診できます）
- ・生活保護世帯の人

場所 松前町総合福祉センター
日時 1月17日（火）9時～11時30分
内容 診察、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査
 ※医師の判断で、貧血・眼底・心電図検査も行う場合があります。
 ※一般の各種がん検診、B型・C型肝炎検査、骨粗しょう症、腹部超音波検診は除きます。

費用 無料
★同時実施
 がん検診無料クーポン対象者と肝炎検診無料対象者へ
 ※乳がん・大腸がんクーポン、肝炎対象の人は、当日受けることができます。

持参品 保険証など本人確認ができる身分証明書、乳がん・大腸がんクーポン（肝炎対象者は身分証明書だけ）

申し込み方法 1月13日（金）までに保険課医療保険係（☎985-4107）か健康課保健センター係（☎985-4118）へ電話

個別健診（医療機関で受けられる健診）は3月まで

対象者（23年4月以降に受けていない人）

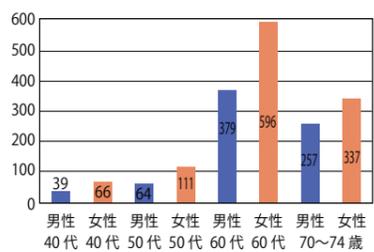
- ・国保に加入している40歳以上の人
- ・後期高齢者医療制度に加入している人

場所 県内の委託医療機関
期間 24年3月まで
内容 診察、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査
 ※医師の判断で、貧血・眼底・心電図検査も行う場合があります。

費用 無料
申し込み方法 保険課医療保険係（☎985-4107）へ電話

●平成22年度 特定健康診査の受診状況

松前町の受診率は34.1%



平成22年度の40歳から74歳までの特定健康診査受診率（国保加入者）は、34.1%でした（21年度比+170人）。60代の受診者数が多く、40・50代の受診者数が少ない傾向にあります。

金婚式を迎えるご夫婦の思い出を、毎年4月に行われる各校区の老人クラブ総会に併せて行います。

結婚50年目のご夫婦を表彰します

- 松前校区会長 重川 源 ☎984-2208
- 北伊予校区会長 金子 馨 ☎984-4368
- 岡田校区会長 山口 久夫 ☎984-3451
- 健康課地域包括支援センター係 ☎985-4205

松前町防災カードを作成しました

緊急時の避難場所や避難方法、その他避難時に必要な情報をコンパクトにまとめた「松前町防災カード」を作成しました。いざというときのために、一度確認してみましょう。 ※今月号の広報まさきと一緒に各戸配布しています。

●総務課危機管理係 ☎985-4103



まさき農園利用者追加募集

野菜、花などの栽培を通じて自然とふれあい、安全な食べ物づくりを通して農業に理解を深めてもらうため、まさき農園を開設しています。利用希望者は、お申し込みください。応募者が多いときは抽選とします。

- 利用期間 契約日（平成24年3月31日まで（以後1年ごと）に更新）
- 利用資格 町内在住の人（1世帯1区画）
- 利用方法 できるだけ農薬、化学肥料を使わない栽培方法（有機栽培）とし、永年作物は不可とします。
- 賃借料 年間5千円（月割）



- 申し込み方法 産業課にある「まさき農園利用申込書」に必要事項を記入して、提出してください（印鑑要）。
- 締め切り 1月31日（火）
- 申込先 産業課農業係 ☎985-4119

平成24年 経済センサス活動調査

2月1日、全国全ての事業所と企業を対象に、「平成24年経済センサス活動調査」が行われます。この調査は、これからの私たちの生活をより良くするために必要な基礎資料となります。

1月中旬から「調査員証」を持った調査員が各事業所を訪問します。この調査は、これからの私たちの生活をより良くするために必要な基礎資料となります。

第33回松前町 公民館研究大会 生涯学習推進大会

テーマ 元気が出るまちづくり 好きです松前町!!

- 日時 2月5日⑩13時～（受け付け12時30分～）
- 会場 松前総合文化センター広域学習ホール
- 内容 開会行事（13時～）
実践発表（13時40分～）
出作分館／新立分館／恵久美分館
記念講演（15時10分～）
講師 弁護士 菊地幸夫さん
演題 「仕事も家庭も一生懸命 ～出会いの人生から学んだこと～」



●講師紹介 菊地幸夫さん

番町法律事務所で弁護士として活躍中。司法試験予備校の辰巳法律研究所で長年講師を務め、合格者を多数輩出。現在は、日本テレビ「行列のできる法律相談所」に準レギュラーとして出演。

※手話と要約筆記がつけます。
※入場者が多い場合は、入場を制限する場合があります。

- 参加費 無料
- 社会教育課生涯学習係 ☎985-4135

平成24年度 松前町臨時職員募集

職種区分	勤務先	勤務内容	募集人員	免許・資格	勤務時間	勤務日	賃金
臨時職員	町長部局または行政委員会など	事務補助など	17人	なし	8時30分～17時15分	月～金	140,702円/月
			1人	障害者手帳など			
	保険課(レセ)	国保レセプト点検事務など	2人	事務経験または医療事務資格			
	社会教育課文化センター係	文化センター貸出業務など	2人	なし	9時30分～18時15分(勤務ローテーション有り)	交代による週5日勤務(④⑤勤務有り)	
パート栄養士	健康課	保育所の献立業務など	1人	栄養士(取得見込者含む)		1カ月10日程度の勤務	8,235円/日
栄養士		保健栄養指導や食育に関することなど	1人				
保健師	健康課または福祉課	保健指導業務など	2人	保健師(取得見込者含む)	8時30分～17時15分		
介護支援専門員 保健師 社会福祉士 看護師	健康課地域包括支援センター係	包括支援センターでの要支援者へのケアマネジメント、相談業務など	5人	介護支援専門員 保健師 社会福祉士 看護師		月～金	172,940円/月
介護支援専門員	保険課	介護認定調査など	3人	介護支援専門員			
パート教諭	幼稚園 松前幼稚園/古城幼稚園	幼稚園での教諭業務	2人	幼稚園教諭免許(取得見込者含む)	8時30分～14時30分(⑧は14時まで)		997円/時間
臨時調理員			4人		8時～16時45分(早出・勤務ローテーション有り)	月～金(春・夏・冬休み期間中の勤務日なし)	6,413円/日
パート調理員	学校給食センター	学校給食の調理業務	8人	なし	8時～12時、12時45分～16時45分または8時～15時(勤務ローテーション有り)		827円/時間
臨時保育士	保育所 松前保育所/宗意原保育所/黒田保育所/小富士保育所/二名保育所/白鶴保育所/若葉保育所/子育て支援センター	保育所での保育士業務、子育て支援センターでの業務	36人	保育士資格(取得見込者含む)	8時30分～17時15分(④12時30分まで)(早出・遅出勤あり)	月～土(勤務表の割り振りによる週38時間45分勤務)	162,294円/月
臨時調理員		乳幼児の給食調理	10人		8時30分～17時15分(④12時30分まで)		134,676円/月
パート職員		保育・事務の補助、調理または調理補助	7人	なし	8時30分～15時30分(④12時30分まで)	月～金6時間、④4時間の週34時間勤務	864円/時間

共通事項

- 年齢要件など** 18歳以上60歳位までで地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
- 任用期間** 6カ月任用し、6カ月以内で更新予定。更新を含め最長で1年以内(更新しない場合もあります)。※幼稚園のパート教諭と学校給食センターの臨時調理員・パート調理員は、24年度の学期単位の長期休業期間の任用(春・夏・冬休み期間中の勤務と健康保険など)はなく、期末手当(ボーナス)の支給はありません。
- 申込期間** 1月4日④～1月20日⑤の8時30分～17時15分(④・⑤、祝日を除く)

- 任用決定** 面接選考など
- 面接日** 2月3日④～2月8日⑤(日時は1月下旬に郵便で通知します。通知が2月2日までに届かない場合は、お問い合わせください。申込者数により面接日を変更することがあります)
- 面接場所** 松前町役場庁舎
- 申し込み方法** 履歴書(写真添付の市販のもので可)の左上枠外に「職種区分」と「勤務先」を明記の上、免許・資格証の写しまたは免許・資格取得見込証明書(該当職種だけ)を添えて、提出してください(郵送可)。※携帯電話番号など昼間の連絡先を明記してください。

申込先 〒791-3192 松前町大字筒井 631 番地 松前町役場総務課職員係 ☎985-4113

平成24年度 放課後児童クラブ指導員・補助員募集

職種	指導員	指導補助員1	指導補助員2
任用職種	嘱託職員	パート	
業務内容	体育レクリエーション、学習活動、児童の生活指導など		
募集人数	4人	4人程度	13人程度
勤務日	①学校登校日の月～金 ②夏、冬、春休み ③④と繰替休業日 ※週5日程度の勤務	①学校登校日の月～金 ②夏、冬、春休み ③④と繰替休業日 ※週4日程度の勤務	①4月1日～入学式の日 ②夏、冬、春休み ③繰替休業日
勤務時間	①放課後～18時 ②③8時30分～18時の午前午後シフト制		①②③8時30分～18時の午前午後シフト制
免許・資格	高等学校か中等教育学校を卒業し、児童の育成及び指導に熱意をもっている人 ※教諭、保育士の資格をお持ちの人歓迎		
報酬	月額 85,800円	時給 864円	

共通事項

- 年齢要件** 18歳以上65歳未満の人
(昭和22年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人)
- 任用期間** 24年4月1日～25年3月31日※指導員は更新予定あり
- 申込期間** 1月4日④～2月10日⑤の8時30分～17時15分(④・⑤、祝日を除く)
- 任用決定** 面接選考
- 面接日** 個別に本人に通知します。
- 面接場所** 松前町役場庁舎
- 申し込み方法** 履歴書(写真添付の市販のもので可)の備考欄に「職種」と「昼間の連絡先(携帯電話番号など)」を明記の上、免許・資格証の写しまたは免許・資格取得見込証明書を添えて、提出してください(郵送可)。

申込先 〒791-3192 松前町大字筒井 631 番地 松前町役場福祉課児童福祉係 ☎985-4114

地域であなたの子育てを応援します こんにちは赤ちゃん事業

本年度から、「こんにちは赤ちゃん事業」を実施しています。赤ちゃんの健やかな成長と保護者の皆さんの子育てを応援するため、生後4カ月までの赤ちゃんがいる家庭を、保育士・保健師が訪問する事業です。

- 対象** 平成23年4月1日以降生まれで松前町に住む赤ちゃん
訪問回数 1家庭につき1回
内容 身長・体重測定、子育ての相談、地域の子育て情報提供
訪問方法 事前に電話連絡し、訪問する日程を相談

★こんにちは赤ちゃん事業の流れ

- 1妊娠** 保健センターに妊娠届を出し、母子健康手帳をもらう。「こんにちは赤ちゃん事業」の説明を受ける。
- 2出産** 町民課に出生届を提出。福祉課で乳児医療、保健センターで予防接種手帳などの手続きをし、「こんにちは赤ちゃん事業」の説明を受ける。
- 3訪問日時の調整** 保健センターへの提出書類をもとに、子育て支援センターから確認の電話がある。
- 4訪問** 生後4カ月までに訪問。

事業についてのほか、子育てに関する相談などがあればお気軽にお問い合わせください。☎福祉課松前町地域子育て支援センター ☎985-4151

ママの声 福田郁恵さん
冴親くん(2カ月)
長女・長男のときにはなかった訪問。3人目でも、子育てについて忘れていたことがあるのでありがたかったです。



身長測定



足形記録



身体チェック

ママの声 西影沙弥香さん 椋音ちゃん(2カ月)
不安に思っていたことを相談できて安心しました。外出ができないうちなので、保育士さんとお話できたことも楽しかったです。

家庭、職場、心と身体の不調に

臨床心理士による
ここからの健康電話相談

相談

- 健康作り、介護予防に役立つ
レクリエーション実技一日講座
- ▼日時 1月28日(土)10時～16時
- ▼場所 松前町総合福祉センター
2階
- ▼締め切り 1月15日(日)
- ▼申込先 愛媛県レクリエーション協会
☎963-1993

- ▼受付期間 2月1日(水)～10日(金) 8時30分～17時
- ※土、日曜日を除く
- ▼受付場所 県中予地方局7階
建設部建築指導課(松山市北持田町132番地)
- ▼抽選日 3月5日(月)
- ※事前に申込書が必要な場合は、1月16日(月)以降にお問い合わせを。
- ☎県営住宅管理グループ
☎998-6671

募集

県営住宅補欠入居者

催し

寒い時期は、献血する人が少ない

冬の献血キャンペーン

- ついでなど、臨床心理士が電話で相談に応じます(匿名、秘密厳守)。
- ▼日時 1月29日(日)9時～17時
- ▼主催 愛媛県臨床心理士会
- ▼相談先
☎956-6401
☎956-6402
- ※当日だけ通話可

く、血液が不足がちです。そこで、新たに成人する「二十歳」の若者を中心に、広く献血への理解と協力を呼び掛けます。会場では、献血クイズや元WBC世界フライ級チャンピオン内藤大助さんのトークショーなども開催します。

▼日時 1月9日(月)9時～17時

▼イベント①11時～②14時

▼場所 エミフルM.A.S.A.K.I
「献血」グリーンゲート3・フロ
ーラルゲート7

☎愛媛県赤十字血液センター
☎973-0700

消費力アップ通信

「お金をあげたい」というメールが届いた!

相談内容

「お金をあげたい」というメールから、有料の出会い系サイトに誘導された。相手の巧妙な言葉を信じてやりとりするうちに、高額な使用料がかかった。

手口の特徴

こういったサイトでは、通常のメールではなく、サイト内で購入したポイントを使ってメールをする仕組みになっています。

●相手は「お金を渡すため」などと言葉巧みにメールを続けさせようとします。ネット上の見知らぬ相手を簡単に信用しないことが大切です。

安心して役場の相談窓口にご相談ください!

相談は秘密厳守。匿名でも相談できます。

- ▷消費者ホットライン ☎0570-064-370
- ▷消費生活相談窓口(産業課内) ☎985-4120
- 毎週火曜日は専門の相談員が対応します。

1月の納税

国民健康保険税(普通徴収) 第7期
町県民税 第4期

納期限は1月31日(火)

◎納期限内にお納めください◎

口座振替は1月25日(土)

人のうごき

(H 23.11.30 現在)

区分	人口	前月比
男	14,885	-7
女	16,379	-6
合計	31,264	-13
世帯	12,842	+2

愛媛県最低賃金

愛媛労働局は、県内すべての労働者に適用される「愛媛県最低賃金」を改正し、平成23年10月20日から施行しています。この決定で、10月20日以降分として労働者に支払う賃金は、1時間647円以上としなければなりません。

☎愛媛労働局賃金室 ☎935-5205
松山労働基準監督署 ☎917-5250

消防署 だより

松前消防署 ☎984-3404

災害に強いまちづくりを目指して

新年明けましておめでとうございます。

今月の消防署だよりは、「災害に強いまちづくりを目指して」と題してお話したいと思います。さっそくですが、過去に愛媛県や松前町で起こった主な災害は次のようなものがあります。

◆愛媛県で起こった主な地震

1649年3月17日	安芸・伊予	M7.0	宇和島、松山城の石垣が崩れる。
1686年1月4日	安芸・伊予	M7.0～7.4	安芸では死者あり。家屋倒壊多数。伊予にも被害。
1707年10月28日	宝永地震	M8.4	死者12人、負傷者24人、御城下の家々破損。
1854年12月24日	安政名南海地震	M8.4	死者2人、家屋全半壊1000軒以上。
1857年10月12日	安芸・伊予	M7.0	郡中で死者4人。
1905年6月2日	芸予地震	M7.0	負傷者17人、家屋全壊8軒。
1946年12月21日	南海地震	M8.0	死者26人、負傷者32人、住家全壊155軒。
2001年3月24日	芸予地震	M6.7	死者2人、負傷者288人、住家全壊70軒、半壊774軒。

◆松前町で起こった主な風水害

1943年7月21～24日	台風	出合橋水量標7.2メートル 徳丸地区左岸決壊、岡田地区6箇所決壊
1945年9月16～17日	枕崎台風	松山地方気象台創設以来の最強風速を記録。北伊予村家屋倒壊1戸、松前町半壊1戸。
1945年10月7～10日	阿久根台風	出合橋水量標6.1メートル、松山測候所雨量330ミリ。堤防は各所で決壊。
1991年9月27～28日	台風19号	負傷者2人、床上・床下浸水304世帯。最大瞬間風速42.8メートル。被害額16億2385万円

災害が少ないといわれる松前町でも、過去には以上のような大きな災害が発生しています。地震や風水害などの自然災害は、いつ発生するかわかりません。

いざというときに被害を最小限に食い止めるためには、日ごろの備えと心構えが非常に重要です。その手助けとなるよう、町は、「松前町総合防災マップ」を作成しています。

自宅周辺の地形把握や、災害発生の状況を正しく理解し、災害に強いまちを目指しましょう。



Information

平成24年
松前町消防出初式

- 日時 平成24年1月8日(日)
オープニングセレモニー 10時10分～
開式 10時30分～
- 場所 松前公園多目的広場
※雨天時の場合は、松前公園体育館

今回は、岡田中学校吹奏楽部の演奏や、オープニングセレモニー終了後は、広報まさき12月号でも紹介しました「女性消防団のポンプ操法」披露も予定しています。ぜひご来場ください。

図書館

筒井633
☎98514140

松前町ふるさと
ライブラリー

1月の新刊

- ◆悪道／森村 誠一
 - ◆水の樞／道尾 秀介
 - ◆ザ・ラストバンカー／西川 善文
 - ◆ステイプ・ジョブズ 1・2
／ウォルター・アイザックソン
 - ◆真田三代 上・下／火坂 雅志
 - ◆あつあつを召し上げられ／小川 糸
 - ◆花明かり／山本 一力
 - ◆「通貨」を知れば世界が読める／浜 矩子
- ※この他にもたくさんのお本が入っています。

おはなしかい

日時 1月28日(土) 11時
場所 文化センター2階
第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなど
を使って毎回楽しいおはなしをします。
皆さん、ぜひ来てみてください。

1月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時
○休館日 1月1日(日)～4日(火)、31日(火)

東
公民館

神崎210
☎98411159

北伊予地区文化祭



文化の秋を迎えた11月、北伊予の5つの地区で盛大に文化祭が開催されました。子どもたちの作品やプロ顔負けの大人たちの趣味の作品は、とても素晴らしく、大勢の人が足を止めて作品に見入っていました。恒例のバザーは、たこ焼きの販売などもあり、大変賑わいました。芸能発表会では、この日のために練習を積み重ねてきた腹話術などの芸が次々に披露されました。出演した老若男女のこころとばかりのハッスルに、会場内は笑いの渦でいっぱいでした。北伊予の文化の花が満開になった文化祭。また一段と、地域の絆が深まった1日でした。

気づきの智慧

東矢 憲二著 / アトラス出版



経営コンサルタントとしての長年の経験を活かして、人生面や経営面などいろいろな角度から、さまざまな気づきを紹介する。ブログ掲載記事から選び書籍化。

誰かが足りない

宮下 奈都著 / 双葉社



偶然、同じ時間に人気レストランの客となった人々の、来店に至るまでのエピソードと前向きな決心…。注目の「心の掬い手」が、しなやかに紡ぐ渾身作。

一般書

一般書

絵本

悪い本

宮部 みゆき作 / 吉田 尚令絵 / 岩崎書店



この世の中のどこかに存在する悪い本。そんな本いらない?でもきつとほしくなる。いつかどこかで、誰かを嫌いになり、誰かがいなくなれば良いと思う。そのときに…。

児童書

ひめちゃんとふたりのおかあさん

森 由民文 / フレーベル館



愛媛県立とべ動物園でアフリカゾウの赤ちゃんが生まれるが、母ゾウは子育てをしない。母ゾウのかわりに飼育係が子ゾウを育て、母ゾウとの関係を修復するまでを描く。

西
公民館

北黒田966-2
☎98415313

高齢者教室(館外研修)



11月8日、待ちに待っていた第6回高齢者教室(館外研修)が開催され、参加者58人が好天に恵まれた秋の吉備路を満喫してきました。最初に岡山の奥座敷総社市足守の町並みを散策。土蔵造り、威厳のある武家屋敷。時がタイムスリップしたかのような、太閤秀吉ゆかりの陣屋町としての歴史に浸りました。次に、日本三大稲荷の一つ最上稲荷へ。500メートルの石段を登りきって参拝をする人、石段の下から手を合わせる人、みやげ物を選ぶ人、それぞれ体力に応じて、昼食後のひと時を過ごしました。そして「招き猫美術館」で教養を高め、最後にキリンピアパークの工場見学とビールの試飲をして、いい気分で帰路につきました。

包
括支援

筒井71011
☎98514205

松前町地域包括
支援センター

多重債務を解決するには

多重債務とは、すでにある借金の返済に充てるため、他の金融業者から借り入れる行為を繰り返すことで、利息の支払いも重なり借金が雪だるま式に増える状態のことです。新たな多重債務者を作らないために、「貸金業法」が改正され、年収の3分の1を超える場合は、新たな借り入れができなくなりました。一方で、借り入れできない多重債務者が高齢者の年金や預貯金を言葉巧みに騙し取るなど、新たな問題が生じています。このような多重債務の問題を解決するためには債務整理が必要です。

【債務整理の方法】

- ・任意整理
- ・特定調停
- ・民事再生手続き
- ・自己破産

債権者(貸す人)から厳しい取り立てを受けるなど、借金返済に追われることは、大きな心理的負担です。できるだけ早く弁護士、司法書士などの専門家に債務整理の方法を相談しましょう。

北
公民館

昌農内456-1
☎98417529

北公民館図書室



松前町の地区公民館には皆さんが本に親しみ、知識の向上に役立ててもらうために図書室があり、老若男女、大勢の人にご利用いただいています。図書室は、松前町に住んでいる人、勤めている人ならどなたでも気軽に利用できます。北公民館開館日の8時30分から17時15分まで利用でき、貸し出しは1人3冊まで、最長2週間となっています。絵本、童話から小説、エッセイ、料理本など、バラエティに富んだ本を取りそろえ、新刊も随時追加しておりますのでドンドン利用してください。詳しい利用方法については北公民館までお問い合わせください。

ふるさと歴史散歩 80

～松前史談会レポート～

北黒田1番地を訪ねる

先日当会にご寄贈頂きました、半井梧菴撰「愛媛面影」(自家再製版)巻四に、9ページにわたり伊予郡の章があり、「和名抄」の引用で、伊予6郷34村と13項目の記事が掲載されています。余戸郷(現在の市坪・垣生・保免・余戸)が伊予郡に含まれていたとか、松前村・黒田村・黒田大溝村などの名が目をつきます。

その黒田村ですが、江戸時代のはじめの替地により、松山藩黒田村(現北黒田)と大洲藩黒田村(現南黒田)に分かれます。分村により、何が変わり、何が変わらなかったのかは、興味深い所です。

明治のはじめに、地番が付けられ、畝順帳ができましたが、松前町の小字名は、当時のものが基礎になっています。北黒田の小字が戎・弁天と近江八景からとった合計10と極端に少ないのもこのときからです。もちろん、以前には多くの小字がありました。北黒田1番地は、大字の東南角一小字「戎」にあります。南黒田の1番地が、大谷川の反対側、すぐ南にあるのも何か関係があるのでしょうか。

今回は、①貴布祢神社に集合して、話し合い。そのあと、②宗通寺 ③1番地周辺 ④延命地藏尊と巡り、午前中に解散しました。詳細は次号。



1 北黒田1番地(小字戎周辺) 大谷川の南は、伊予工業団地
2 貴布祢神社本殿(小字唐崎) 南黒田の朝日天神社との間に真光寺(旧小字名)の地名がある



1月のふるさと歴史散歩は休みます。

◎ 松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



県小学校陸上記録会で準優勝

岩本拓也くん 忽那稜聖くん 竹田光希くん
Iwamoto Takuya 本村 Kutsuna Ryosei 宗意原 Takeda Mitsuki 筒井
石崎柊太朗くん 星加真吾くん
Ishizaki Shutaro 北黒田 Hoshika Shingo 筒井

松前小学校6年生の岩本拓也くん、忽那稜聖くん、竹田光希くん、石崎柊太朗くん、星加真吾くんは11月7日、県小学校陸上記録会の男子4×100メートルリレーで、見事準優勝に輝きました。タイムは自己ベストの53秒41。優勝を逃した悔しさはありましたが、タイムを見た5人は素直に喜びました。

町内大会で優勝した5人。県大会の予選を兼ねた伊予地区大会に向け、さらに厳しい練習に励みました。5人は特にバトンパスを特訓。チームワークに磨きをかけました。結果、伊予地区大会では自己ベストで優勝。県大会への切符を手に入れました。

「大勢の人が応援してくれた。仲間と自己ベストが出せてうれしかった(拓也くん)」「一人が注意されたら、みんなができてないと思って練習していた(稜聖くん)」「仲間や先生に支えられた。大会のたびに伸びるタイムを見て、練習の大切さがわかった(光希くん)」「練習の成果が出せるよう、大会ではバトンのタイミングに気をつけた(柊太朗くん)」「補欠で大会には出なかったけど、みんなが頑張るよう精一杯声を出した(真吾くん)」

チームワークの良さが功を奏して、県大会で堂々の戦いぶりを見せた5人。「強さの秘訣は『絆』」と言い切る5人の瞳は、キラキラ輝いていました。



やまもと ゆづき
山本 唯楓 ちゃん

南黒田
平成23年1月11日生
(父)真史さん (母)あゆみさん
お兄ちゃんに負けず元気に大きくなってね。



3月に1歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータも可)を持参してください。
*先着6人です。
募集期間 1月4日④～1月17日④
▶総務課広報情報係 ☎ 985-4132

まちの文芸

松前町俳句大会の入選句

11月20日、松前総合文化センターで「松前町俳句大会」が開かれました。大会には、一般の部に87句、学生の部に1026句の応募があり、当日は、一般の部の選句会と、入選句の発表と表彰が行われました。入選句を紹介しします。

一般の部

町長賞 鯉跳んで一湾の潮 動き出す 井門忠士
教育長賞 もみずれる 静けさ八十路ははじまりぬ 森川小夜子
文化協会会長賞 新藁の匂ひ残れる夜の静寂 大政こず枝

学生の部 特選

くりひろいあおいそらとおとうさん 秋山唯(北伊予小1年)
あさがおのたねをとったよまたあおう 吉本陽仁(岡田小2年)
かきごおり色んなあじをたべたいな 田原和華(松前小3年)
すず虫の音色がわたしの子守うた 村上菜々子(北伊予小4年)
つまづいてせんこう花火おっこちた 木山莉花(岡田小5年)
秋風に背中おされて走りぬく 児玉梨緒(北伊予小6年)



おうちで給食

recipe 40 豚肉と大根のみそ炒め



●材料● (4人分)

豚肉もも……………150g
しょうが……………小1かけ
濃い口しょうゆ……………小さじ1
酒……………小さじ1
サラダ油……………小さじ1
うずら卵……………8個
大根……………中1/3本
人参……………中1/4本
ピーマン……………1個
赤みそ……………小さじ1
A 味噌醬……………小さじ1
豆板醬……………少々
B 赤みそ……………小さじ1
上白糖……………小さじ1
濃い口しょうゆ……………小さじ1

Point 味噌醬がなければ、赤みそを多めに。
豆板醬は、好みにより量を加減してください。

●作り方●

- 1 豚肉ももは、Aで下味をつける。(しょうがはすりおろす。)
- 2 大根は0.8cm、人参は0.3cmのいちょう切り、ピーマンはせん切りにする。
- 3 うずら卵をゆで、殻をむいておく。
- 4 サラダ油を熱して、1を炒める。
- 5 4に大根、人参を加えて炒める。
- 6 5に火が通ったら、うずら卵、ピーマン、Bを加える。

行 っ て こー わ い 会 っ て こー わ い

「松前ソフトテニスクラブ」

にぎやかに、仲良く
生涯スポーツを楽しむ

No. 40

松前公園と石手川テニスコートで、週2回
ずつ活動している「松前ソフトテニスクラブ」。
現在、20代から70代までの老若男女40人
が、さわやかな汗を流しています。

昭和53年、松前町が主催したソフトテ
ニス教室が母体となって結成。以来、定期練習
のほかにも、町内でのソフトテニス大会を定
期的に開催し、県や松山市主催の大会にも
積極的に参加しています。そうした長年に渡
るスポーツの普及振興への尽力が認められ、
平成23年度生涯スポーツ優良団体として、
文部科学大臣表彰を受賞しました。

結成当時からご夫婦で参加している中矢
一昌さんは、「勤めているときは、土日の練
習が楽しみで仕方がありませんでした。退職
した今は、毎回練習に参加しています。運動
していると若くられるから」と笑顔で話し
ます。中矢さんご夫婦のほかにも、夫婦で参
加している人、親子で参加している人も多
いという「松前ソフトテニスクラブ」。誰も
が、いつでも、どこでも気軽に参加できる。
そしてずっと続けられる。そんな生涯スポ
ーツの魅力が詰まった団体です。



1. 元気いっぱい練習に
励む松前ソフトテニス
クラブの皆さんの皆
さん 2. 真剣な表情
でゲーム形式の練習
をするメンバー

▼編集後記

新年、あけましておめで
とございます。昨年はた
くさんの皆さんのおかげ
で、充実した1年を過ご
すことができました。感謝の
気持ちでいっぱいです。取
材に協力してくださった皆
さん、広報を読んでくださ
った皆さん、本当にありが
とうございました。今年も
皆さんと一緒に、泣いて、
笑って、悩んで、進む1年
にします。どうぞよろしく
お願いします。(高橋)

「あけましておめでと
うございます。」誰もが使う
決まり文句ですが、昨年の
震災の影響でこの言葉を控
える場合も多いようです。
自粛が必要という声もあ
れば、過剰反応という声もあ
ります。どちらに反論する
わけでもありませんが、特
に考えずに昨年まで使っ
たのも事実。今年は、復興
の希望も込めて使いたい
と思います。「あけまして
おめでとございます。今年
こそは素晴らしい年にな
りますように」
(松田)



「あつたか」お風呂
住まいのリフォーム
あいがん
TOTOリモデル
クラブ会員店
松山市土居町500-15 ☎ 0120-96-8787

作りませんか？住基カード
平成24年3月31日まで
発行手数料500円が無料！
(公的個人認証希望の場合は500円必要)
☎ 町民課住民係 ☎ 985-4105

有料広告募集中
掲載場所 裏表紙の最下段
広告料 20,000円/枠(1カ月)
大きさ 縦40ミリ×横60ミリ
カラー フルカラー
☎ 総務課広報情報係 ☎ 985-4132

発行/松前町
編集/広報編集委員会
発行日/平成24年1月1日
〒791-3192
愛媛県伊予郡松前町大字筒井631
☎ 089-985-2111(代)

この広報紙は、資源保護
と環境に配慮して大豆油
インキ、水溶性印刷で作
成しています。

